

# 岡山県感染症週報 2013 年 第 46 週 (11 月 11 日～11 月 17 日)

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症注意報』発令中です。  
岡山県は『食中毒（ノロウイルス）注意報』を発令しました（11 月 21 日）。

12 月 1 日は世界エイズデーです。

## ◆2013 年 第 46 週（11/11～11/17）の感染症発生動向（届出数）

### ■全数把握感染症の発生状況

|        |        |             |                                       |
|--------|--------|-------------|---------------------------------------|
| 第 44 週 | 2 類感染症 | 結核          | 3 名（20 代 女 1 名、60 代 女 1 名、70 代 女 1 名） |
|        | 5 類感染症 | アメーバ赤痢      | 2 名（30 代 女 1 名、40 代 女 1 名）            |
|        |        | ウイルス性肝炎     | 1 名（40 代 男）                           |
| 第 45 週 | 4 類感染症 | レジオネラ症      | 4 名（50 代 男 1 名、60 代 男 3 名）            |
|        | 5 類感染症 | アメーバ赤痢      | 1 名（40 代 男）                           |
|        |        | 急性脳炎        | 1 名（60 代 女）                           |
|        |        | 後天性免疫不全症候群  | 1 名（60 代 男）                           |
|        |        | 破傷風         | 1 名（70 代 男）                           |
| 第 46 週 | 2 類感染症 | 結核          | 2 名（60 代 男 1 名、80 代 男 1 名）            |
|        | 3 類感染症 | 腸管出血性大腸菌感染症 | 1 名（O91：60 代 女）                       |
|        | 5 類感染症 | 後天性免疫不全症候群  | 1 名（20 代 男）                           |
|        |        | 梅毒          | 1 名（20 代 男）                           |

### ■定点把握感染症発生状況

- RS ウイルス感染症は、県全体で 54 名（定点あたり 0.91 → 1.00 人）の報告があり、前週より増加しました。
- インフルエンザは、県全体で 8 名（定点あたり 0.06 → 0.10 人）の報告があり、前週より増加しました。
- 感染性胃腸炎は、県全体で 359 名（定点あたり 5.74 → 6.65 人）の報告があり、前週より増加しました。

1. [腸管出血性大腸菌感染症](#)は、第 46 週に 1 名の発生報告がありました。岡山県のこれまでの報告累計は 78 名となり、第 39 週から 8 週連続の発生となっています。県では、7 月 10 日に「腸管出血性大腸菌感染症注意報」を発令し、注意喚起を図っています。手洗い等を徹底するとともに、食品は冷蔵庫で保存し、調理後はできるだけ速やかに食べる、食肉は中心部まで火を通すなど、感染予防に努めましょう。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ「[腸管出血性大腸菌感染症注意報 発令中!](#)」をご覧ください。
2. [RSウイルス感染症](#)は、県全体で 54 名（定点あたり 0.91 → 1.00 人）の報告があり、前週より増加しました。詳しくは『今週の注目感染症』をご覧ください。
3. [インフルエンザ](#)は、県全体で 8 名（定点あたり 0.06 → 0.10 人）の報告があり、前週より増加しました。県内の発生はまだ散発的ですが、手洗い・うがいなど、自分でできる感染予防に努めましょう。定期予防接種の対象者は、積極的に予防接種を受けましょう。定期予防接種の対象者以外の方は、任意での予防接種を受けることをご検討ください。ワクチンの在庫及び予防接種の予約等については、各医療機関にお問い合わせください。県内の詳しい発生状況などは、[「インフルエンザ情報」](#)をご覧ください。
4. [感染性胃腸炎](#)は、県全体で 359 名（定点あたり 5.74 → 6.65 人）の報告があり、前週より増加しました。県では、定点あたり患者数が 2 週連続で 1.1 倍以上に増加したことから、11 月 21 日に「[食中毒（ノロウイルス）注意報](#)」を発令し、食中毒予防を呼びかけています（昨シーズン平成 24 年 11 月 8 日発令）。県内の発生状況など、詳しくは『今週の注目感染症』をご覧下さい。

## 流行の推移と発生状況

| 疾病名            | 推移 | 発生状況 | 疾病名           | 推移 | 発生状況 |
|----------------|----|------|---------------|----|------|
| インフルエンザ        | ↘  | ★    | RSウイルス感染症     | ↘  | ★★   |
| 咽頭結膜熱          | ↗  | ★    | A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | ↗  | ★    |
| 感染性胃腸炎         | ↗  | ★★★★ | 水痘            | ↗  | ★★   |
| 手足口病           | ↗  | ★    | 伝染性紅斑         | ↗  | ★    |
| 突発性発疹          | ↘  | ★    | 百日咳           | ↗  | ★    |
| ヘルパンギーナ        | ↗  | ★    | 流行性耳下腺炎       | ↘  | ★    |
| 急性出血性結膜炎       | ↗  |      | 流行性角結膜炎       | ↗  | ★    |
| 細菌性髄膜炎         | ↗  |      | 無菌性髄膜炎        | ↗  |      |
| マイコプラズマ肺炎      | ↗  | ★    | クラミジア肺炎       | ↗  |      |
| 感染性胃腸炎(ロタウイルス) | ↗  | —    |               |    |      |

【記号の説明】 前週からの推移:

↓ : 2 倍以上の減少

↘ : 1.1～2 倍未満の減少

↗ : 1.1 未満の増減

↗ : 1.1～2 倍未満の増加

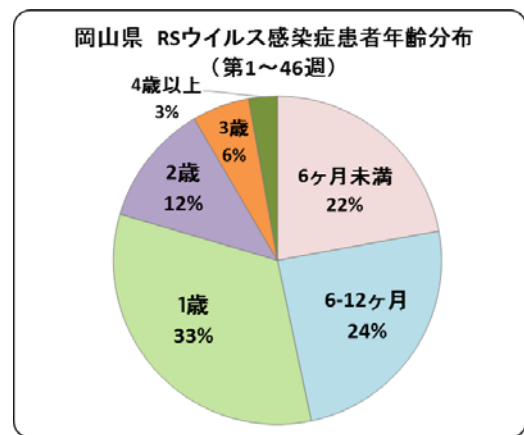
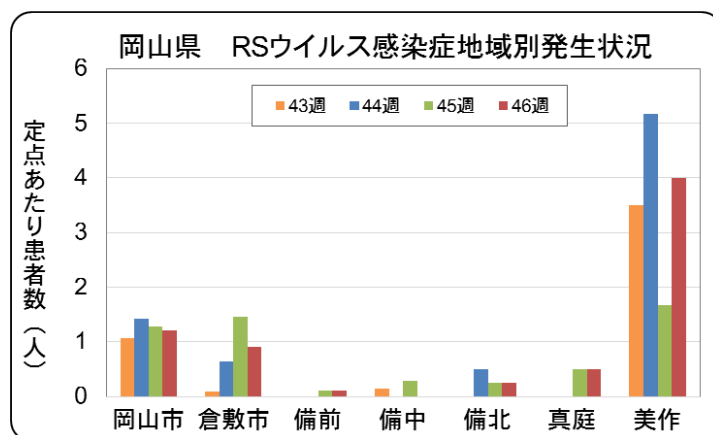
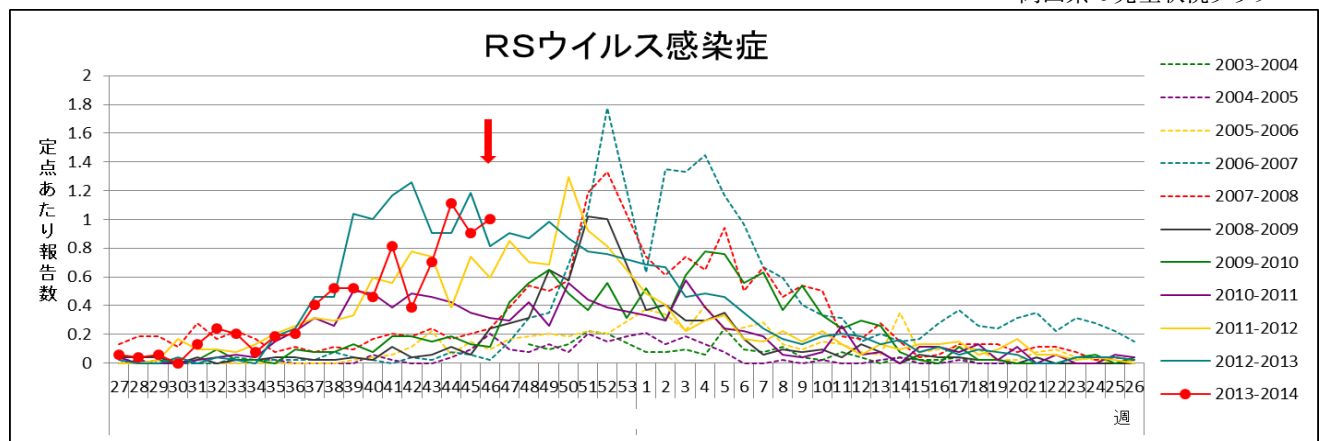
↑ : 2 倍以上の増加

発生状況: 空白:発生なし ★: 僅か ★★: 少し ★★★: やや多い ★★★★: 多い ★★★★★: 非常に多い  
※今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。感染性胃腸炎(ロタウイルス)については、平成 25 年第 42 週から報告対象となったため、前週からの推移のみ表示しています。

## 今週の注目感染症

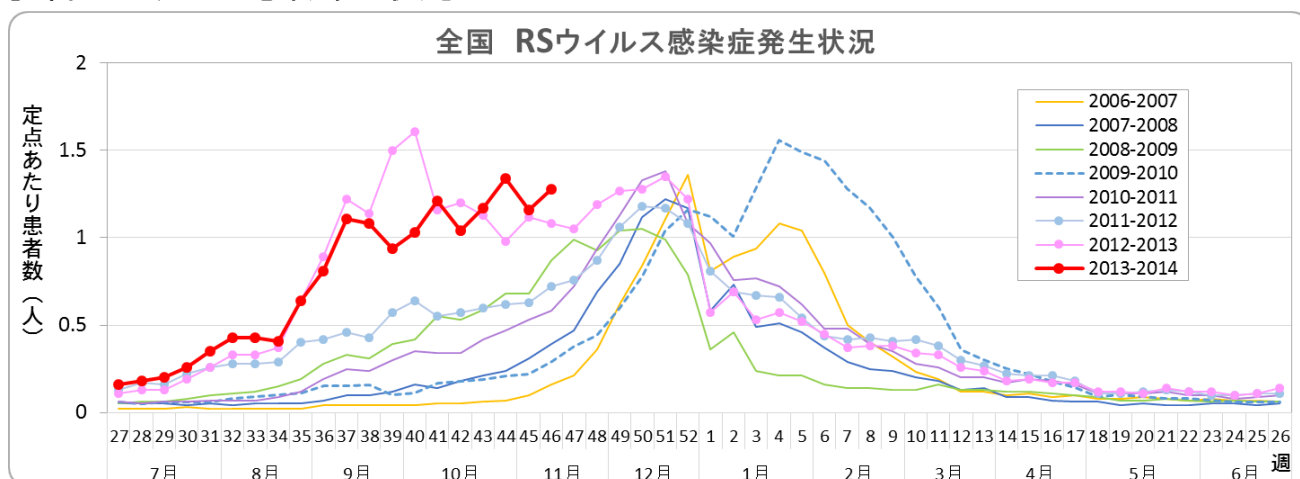
### 1. RSウイルス感染症

岡山県の発生状況グラフ



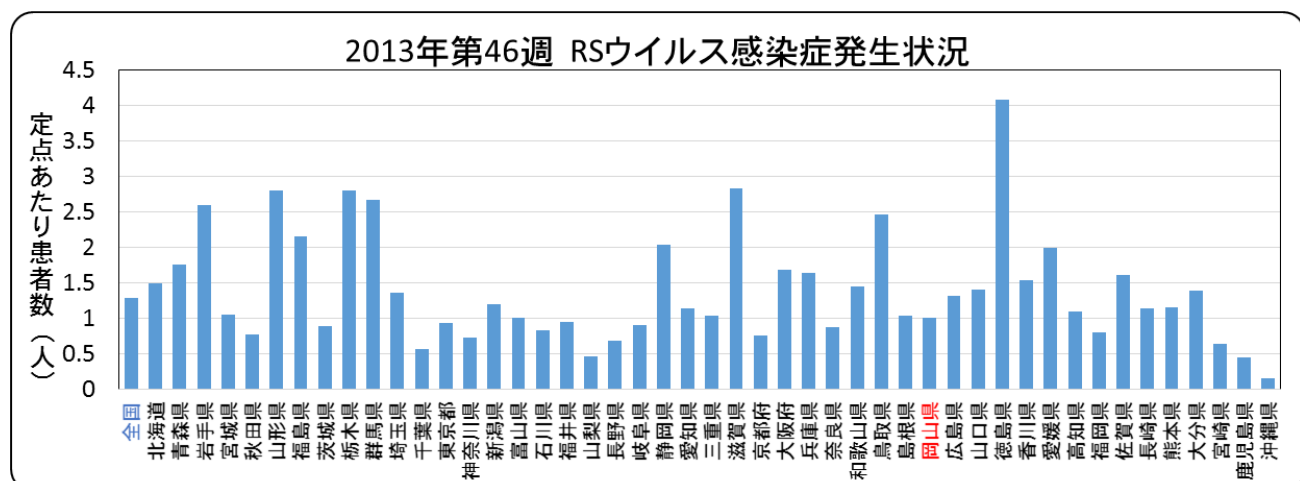
RSウイルス感染症は、第46週には県全体で54名（定点あたり0.91 → 1.00人）の報告があり、前週より増加しました。増減を繰り返しながら、増加傾向で推移しています。この感染症は、秋から冬にかけて多くの患者が報告されており、今後さらに患者数が増加する恐れがあります。ひきつづき発生状況に注意してください。地域別では、美作地域（4.00人）で最も定点あたり報告数が高く、高いレベルで推移しており、次いで岡山市（1.21人）、倉敷市（0.91人）の順で多くなっています。年齢別では、6ヶ月未満 22%、6-12ヶ月 24%、1歳 33%と、1歳以下の乳児が79%を占めています。

## 【全国のRSウイルス感染症発生状況】



全国の第46週までの発生状況を見ると、2012年と同様の早い立ち上がりとなったあとは、第37週頃から増減を繰り返しながら徐々に増加しており、第43週以降は過去10年の同時期で最も多い状態で推移しています。RSウイルス感染症の報告数は、2011年頃からは、それ以前に比べて早い時期から、多くの患者が報告されるようになってきています。

(IDWR 2013年第36号＜注目すべき感染症＞RSウイルス感染症)



定点あたり報告数は、西日本や、北関東地方、東北地方などで多くなっています。RSウイルス感染症は、大人では軽い風邪の様な症状で軽快しますが、乳幼児などでは、重症化して肺炎や細気管支炎といった重篤な症状を引き起こすことがあるため、手洗い、うがい、マスクの着用等、感染予防に努め、お子さんの体調が悪いときは、早めに医療機関を受診してください。

## 【RSウイルス感染症とは】

RSウイルスに感染することで発症する急性呼吸器感染症です。潜伏期は2～8日で、発熱、鼻汁、咳などで発症し、軽度の感冒様症状から、重症の肺炎や細気管支炎などの下気道疾患を発症する場合までさまざまです。症状は7～12日で軽快し、成人では通常、感冒様症状を起こすのみですが、初感染の場合は下気道疾患を引き起こす危険性が高くなります。母体からの移行抗体では感染を防ぐことができず、乳幼児期（特に生後6ヶ月以内）に感染すると、高い確率で肺炎や細気管支炎などの重篤な症状を引き起こします。乳幼児において、肺炎の約50%、細気管支炎の50～90%はこのウイルスによるものと報告されています。また、低出生体重児や、心肺系の基礎疾患、免疫不全等がある場合には重症化のリスクが高くなります。重篤な合併症として、無呼吸発作、急性脳炎等があり、1歳以下の乳児では、中耳炎の合併も多く報告されています。年齢を問わず、生涯にわたり感染・発症を繰り返しますが、通常は年齢が上がるにつれて、重症化しにくくなります。

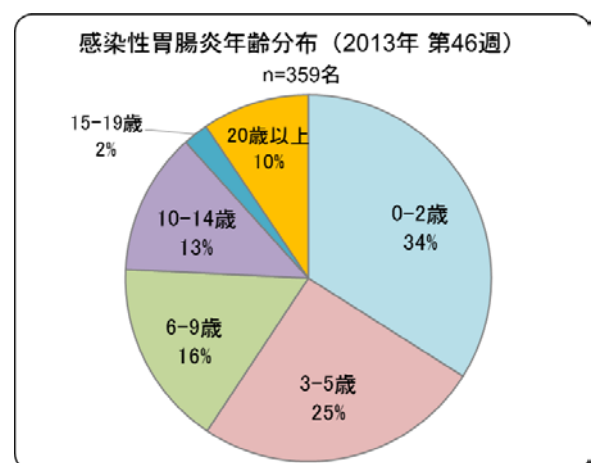
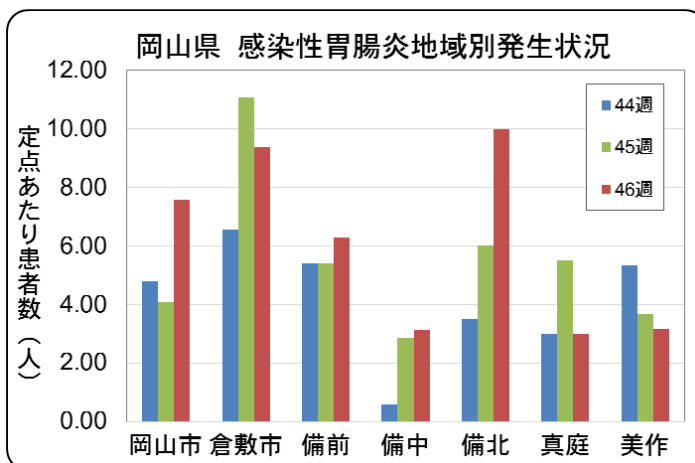
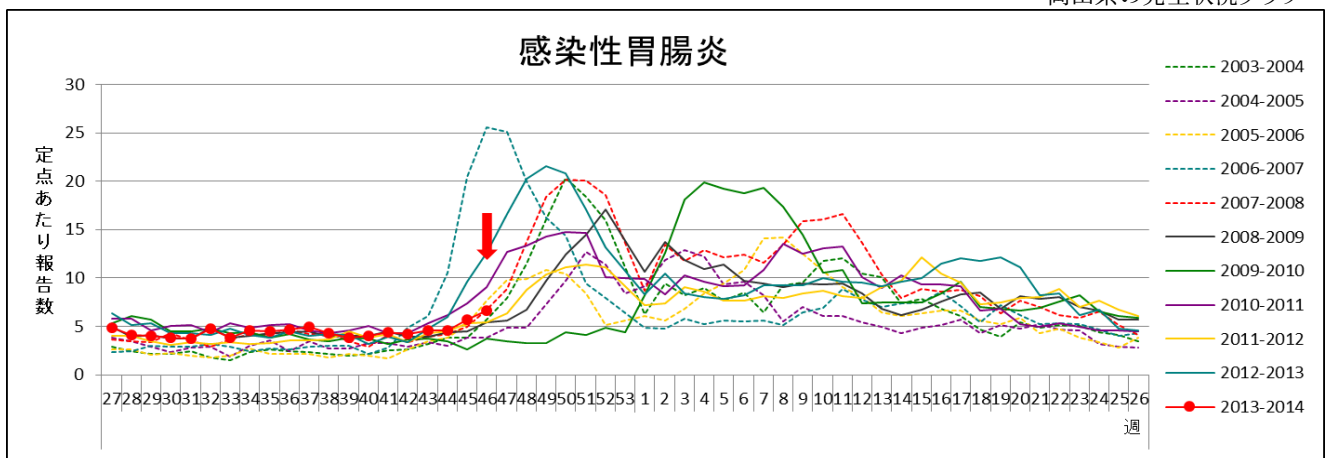
## 【治療・予防】

特効薬はなく、治療は対症療法が中心です。感染力が強く、主な感染経路は咳やくしゃみなどによる飛沫感染と、飛沫に汚染された手指や物品からの接触感染です。学校や保育施設などでは集団発生することもあります。RS ウイルスは眼や鼻からも感染すると考えられているため、体調の変化に応じてマスクを着用する等、咳エチケットを心がけましょう。また、年長児や大人では感染に気づかず子供にうつしてしまうこともあります。咳等の呼吸器症状がある年長児や大人は、可能な限り 1 歳以下の小児との接触を避けることが、乳幼児の感染予防に繋がります。1 歳以下の小児と日常的に接する方は、咳などの呼吸器症状がある場合はマスクを着用しましょう。小児が日常的に触れるおもちゃ、手すりなどを、こまめにアルコールや塩素系消毒剤等で消毒し、流水・石けんによる手洗い・アルコール製剤による手指の消毒等を行うことが、接触感染の予防となります。

[\(RS ウイルス感染症に関するQ & A \(平成 25 年 9 月 25 日\)\) \(厚生労働省\)](#)

## 2. 感染性胃腸炎

岡山県の発生状況グラフ



**感染性胃腸炎**は、県全体で 359 名（定点あたり 5.74 → 6.65 人）の報告があり、前週より増加しました。県では、定点あたり患者数が 2 週連続で 1.1 倍以上に増加したことから、11 月 21 日に「[食中毒（ノロウイルス）注意報](#)」を発令し、食中毒予防を呼びかけています（昨シーズン平成 24 年 11 月 8 日発令）。

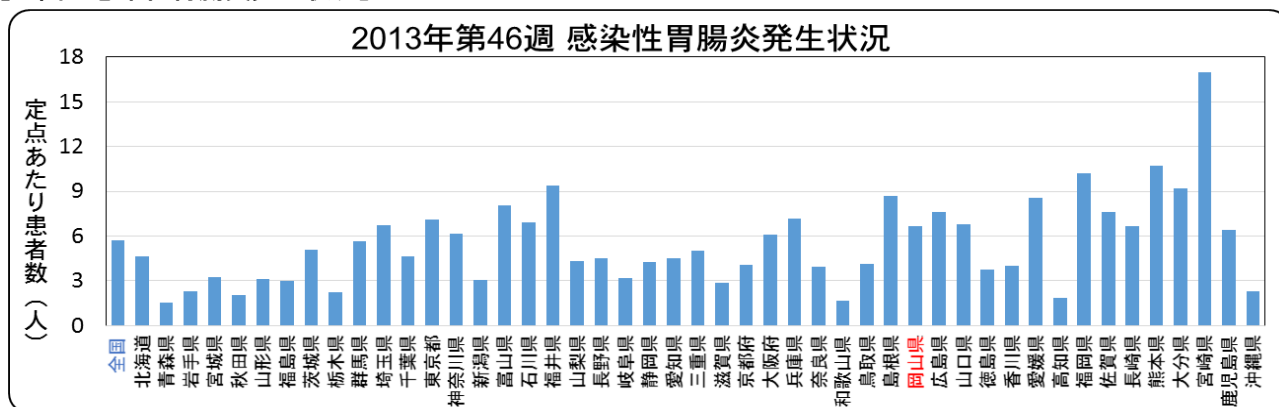
地域別では、備北地域（10.00 人）、倉敷市（9.36 人）、岡山市（7.57 人）の順で患者が多くなっています。

年齢別では、0～2 歳が全体の 34% で最も多く、5 歳以下の幼児が 59% を占めています。

冬の感染性胃腸炎の原因はウイルスによるものが多く、幅広い年齢層での発生がみられます。学校や福祉施設、病院などでは感染が拡大することがありますので手洗いの徹底や、下痢便・吐物の適切な処理など感染予防と拡大防止に努めてください。



## 【全国の感染性胃腸炎発生状況】



### 【感染性胃腸炎とは】

感染性胃腸炎は、主にウイルスや細菌を原因とする胃腸炎の総称で、冬に流行する代表的な感染症です。1年を通じて発生が報告されますが、主に患者発生ピークとなる12月にはノロウイルスが原因となることが多く、その後春のピークはロタウイルス、夏期には腸炎ビブリオなどの細菌性のものが原因となると考えられています。

[○感染性胃腸炎とは（国立感染症研究所）](#)

[○IDWR2012年第48号＜注目すべき感染症＞感染性胃腸炎](#)

## ＜冬期に多いウイルス性胃腸炎について＞

### 【症状】

1～2日の潜伏期の後、嘔吐、下痢、腹痛、37℃台の発熱が見られます。ノロウイルスを原因とする場合、症状は1～2日と短期間ですが、ロタウイルスを原因とする場合は5～6日つづくことがあります。

### 【感染経路】

ウイルスが人の手などを介して、口に入ったときに感染する可能性があります。

1. 感染した人の便や吐物に触れた手指を介してウイルスが口に入った場合
2. 便や吐物が乾燥して、細かな塵と舞い上がり、その塵と一緒にウイルスを吸い込んだ場合
3. 感染した人が十分に手を洗わずに調理した食品を食べた場合
4. 汚染されていた二枚貝を、生あるいは十分に加熱調理しないで食べた場合

特にノロウイルスは、100個以下の少ない量でも感染が成立する、非常に感染力が強いウイルスです。

### 【治療】

ウイルスを原因とする感染性胃腸炎への特別な治療法はなく、対症療法が中心です。通常重症化することはありませんが、小さなお子さんや高齢者の方は、嘔吐や下痢による脱水症状を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。

### 【予防】

1. **最も大切なことは手を洗うことです。**特に、排便後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。
2. 嘔吐物や下痢便にはウイルスが大量に含まれています。処理するときは、**処理をする人自身が感染しないように気をつけましょう。**使い捨ての上着や、マスク、手袋を着用し、下痢便、嘔吐物をペーパータオル等で静かに拭き取った後は、塩素系漂白剤で浸すように床を拭き取り、その後水拭きをします。また、処理をした後はしっかりと流水で手を洗いましょう。
3. 嘔吐物や下痢便で汚れた衣類は、付着した汚物除去し、洗剤を入れた水の中で静かにもみ洗いした後、85℃で1分間以上の熱水洗濯が適しています。熱水洗濯が行える洗濯機がない場合は、**次亜塩素酸ナトリウム※の消毒が有効です。**  
※塩素系の漂白剤（使用に当たっては「使用上の注意」を確認しましょう。）
4. 嘔吐物は思った以上に遠くまで飛び散ります。ウイルスが残らないように、塩素系消毒剤で広い範囲を確実に消毒しましょう。**ノロウイルスにアルコールは消毒効果が低いとされています。**
5. 食品は中心部まで十分に加熱しましょう。



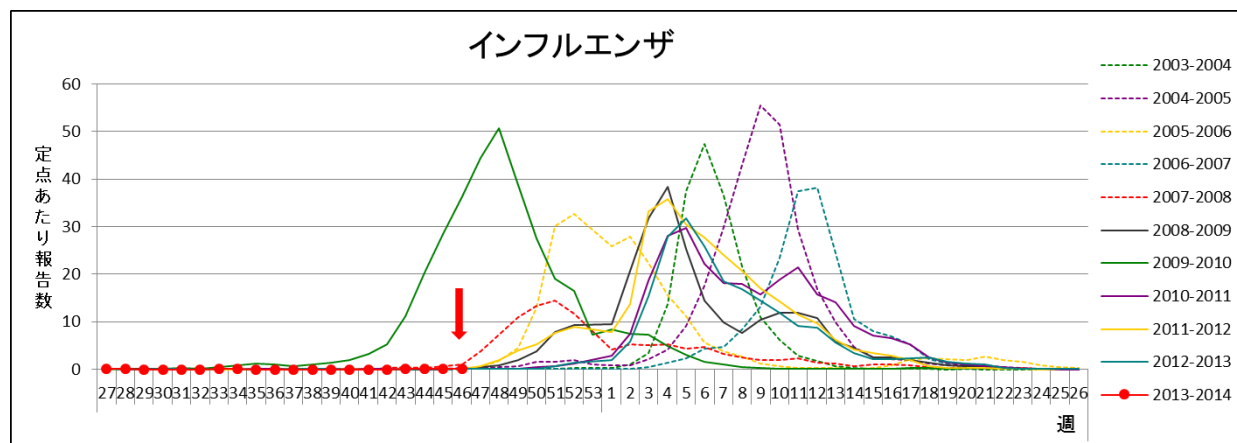
[○ノロウイルスに関するQ&Aについて（厚生労働省）](#)

[○ノロウイルス感染症とその対応・予防（家庭等一般の方々へ）（国立感染症研究所）](#)

## インフルエンザ情報 2013 年第 46 週 (11 月 11 日 ~ 11 月 17 日)

## ➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で 8 名の発生がありました (84 定点医療機関報告)。
- 総社市の幼稚園で、今シーズン初となるインフルエンザとみられる臨時休業がありました。
- 倉敷市のインフルエンザ患者 2 名及び備中地域のインフルエンザ患者 2 名から、AH3 型のインフルエンザウイルスが検出されました。
- インフルエンザによる入院患者の報告はありませんでした。



インフルエンザは、備北地域で 3 名、倉敷市と備中地域で各 2 名、美作地域で 1 名の報告があり、県全体で 8 名 (定点あたり 0.06 → 0.10 人) の発生となりました。県内の発生は、まだ散発的ですが、報告数は増加しています。総社市の幼稚園で学年閉鎖が発生し、今シーズン初めてのインフルエンザとみられる臨時休業となりました。また、県内のインフルエンザウイルス検出状況を見ると、第 45 週の倉敷市の患者 2 名と、46 週の総社市の患者 2 名から AH3 型のインフルエンザウイルスが検出されています。

インフルエンザの本格的な流行は、通常 12 月に入ってからといわれますが、全国ではすでに集団事例も発生していますので、手洗い・うがいを励行し、感染予防を心がけましょう。

## インフルエンザにかからないようにするには

## 1. 飛沫感染、接触感染といった感染経路を断つことが大切です。

- ・ 外から帰ってきたときには手洗いを心がけましょう。
- ・ アルコールを含んだ消毒液で手を消毒するのも効果的です。
- ・ 流行期には人混みを避け、人混みに入るときはマスクを着用するなどして感染を防ぎましょう。
- ・ 普段からの健康管理も重要です。栄養と睡眠を十分にとり、抵抗力を高めておくこともインフルエンザの発症を防ぐ効果があります。

## 2. 予防接種も重要です。

- ・ 予防接種は発症の可能性を減らし、もし発症しても重い症状になるのを防ぎます。
- ・ 流行するウイルスの型も変わるので、毎年、定期的に接種することが望まれます。

## インフルエンザにかかったとき、特に気をつけることは

## 「他の人にうつさない」ことが大切です。

- ・ せきが出るときはマスクを付け、せきエチケット※を行いましょう。
- ・ 同居する他の家族、特に重症になりやすいお年寄りなどにはなるべく接触しないよう心がけましょう。
- ・ 家族が患者さんと接するときには念のためマスクを着用し、お世話の後は、こまめに手を洗いましょう。

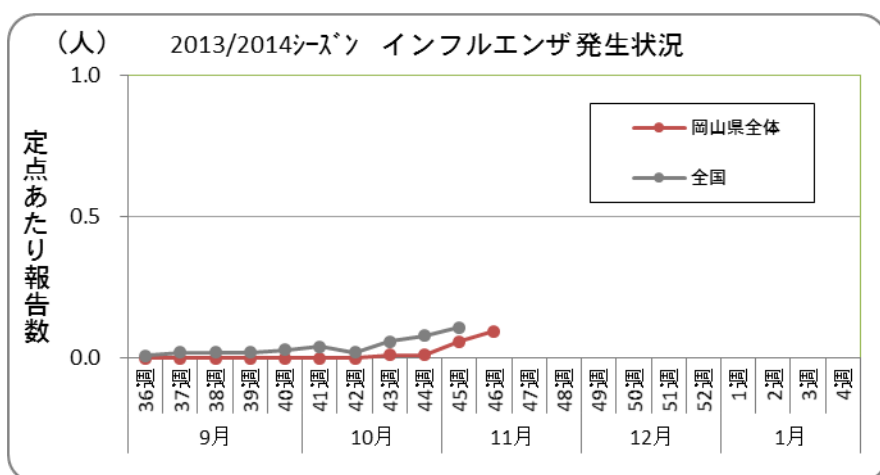
※せきエチケットとは：人に向かって咳やくしゃみをしないことです。とっさにせきやくしゃみが出そうなときは、周囲の人から顔をそらし、そで口で口をおおう、また用意があればティッシュなどで口・鼻をおおいます。せきやくしゃみがつづく時はマスクを着用してください。鼻水・痰などを含んだティッシュはすぐにナイロン袋に入れて密封したり、ふた付きのゴミ箱に捨て、直ちに手を洗いましょう。

# 1. 地域別発生状況

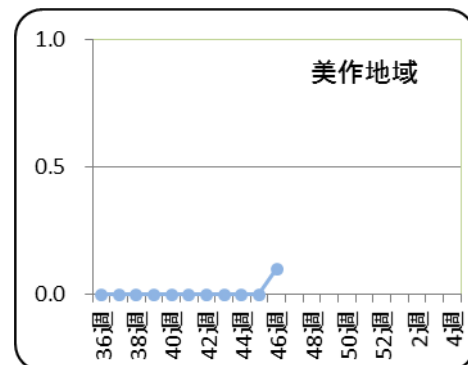
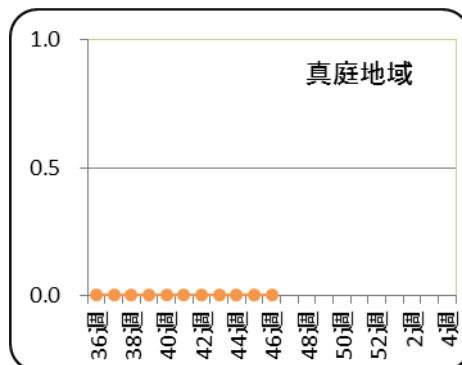
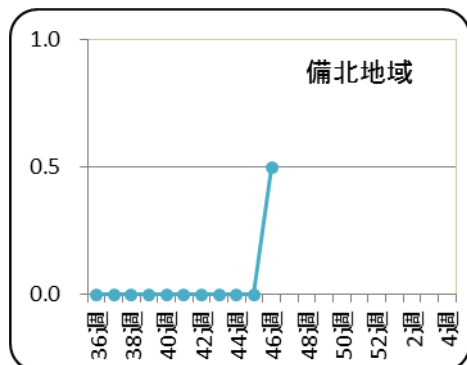
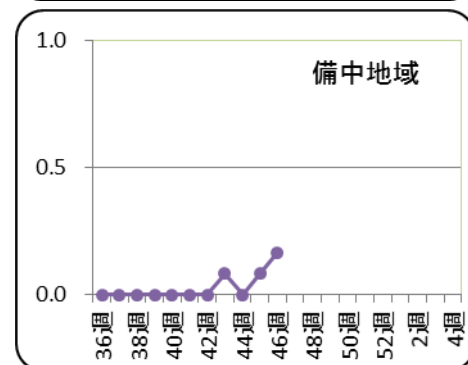
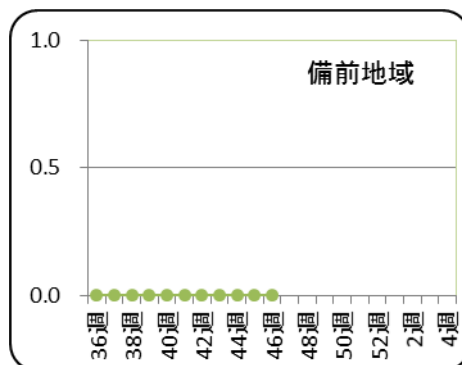
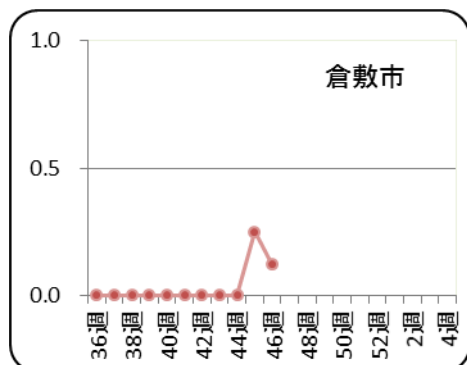
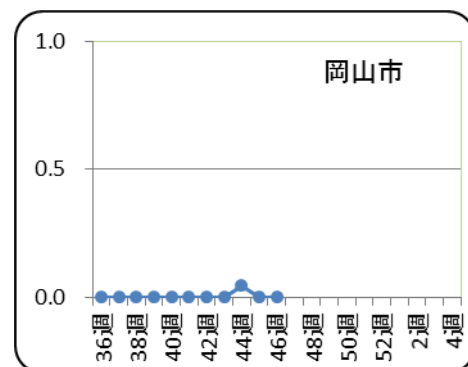
前週からの推移（単位：人）

| 地域名   | 発生状況  |      | 推移 | 地域名 | 発生状況  |      | 推移 |
|-------|-------|------|----|-----|-------|------|----|
| 岡山県全体 | 患者数   | 8    | ↑  | 備 中 | 患者数   | 2    | ↑  |
|       | 定点あたり | 0.10 |    |     | 定点あたり | 0.17 |    |
| 岡山市   | 患者数   | —    | ↑  | 備 北 | 患者数   | 3    | ↑  |
|       | 定点あたり | —    |    |     | 定点あたり | 0.50 |    |
| 倉敷市   | 患者数   | 2    | ↓  | 真 庭 | 患者数   | —    | →  |
|       | 定点あたり | 0.13 |    |     | 定点あたり | —    |    |
| 備 前   | 患者数   | —    | ↑  | 美 作 | 患者数   | 1    | ↑  |
|       | 定点あたり | —    |    |     | 定点あたり | 0.10 |    |

【記号の説明】 前週からの推移： 2倍以上の減少 ↓ 1.1～2倍未満の減少 ↓ 1.1未満の増減 → 1.1～2倍未満の増加 ↑ 2倍以上の増加 ↑



全国集計第45週(11/4～11/10)速報値によると、全国では定点あたり0.11人であり、発生はまだ散発的です。地域別では、沖縄県(0.93人)、愛媛県(0.70人)、岐阜県(0.62人)の順で定点あたり報告数が多くなっていますが、インフルエンザの流行開始の目安となる「定点あたり1.0人」を越えている地域はありませんでした。



2. インフルエンザウイルス検出状況

第46週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスは、AH3型が4株でした。

| ウイルス名             | 検体採取週        | 検体採取日            | 地域  | 年齢   | 性別 | 備考 |
|-------------------|--------------|------------------|-----|------|----|----|
| インフルエンザウイルス AH3 型 | 2013 年第 45 週 | 2013 年 11 月 9 日  | 倉敷市 | 70 代 | 女  |    |
| インフルエンザウイルス AH3 型 | 2013 年第 45 週 | 2013 年 11 月 10 日 | 倉敷市 | 20 代 | 女  |    |
| インフルエンザウイルス AH3 型 | 2013 年第 46 週 | 2013 年 11 月 14 日 | 備中  | 幼児   | 男  |    |
| インフルエンザウイルス AH3 型 | 2013 年第 46 週 | 2013 年 11 月 14 日 | 備中  | 小学生  | 女  |    |

3. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザとみられる学年閉鎖が備中保健所管内（総社市）の幼稚園1園であり、今シーズン初めてのインフルエンザとみられる学校等の臨時休業となりました。

1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

| 地域名*  | 有症者数 |    | うち<br>欠席者数 |    | 施設数合計 |    | 休園・<br>休校数 |    | 学年閉鎖<br>施設数 |    | 学級閉鎖<br>施設数 |    | 初発<br>年月日   |
|-------|------|----|------------|----|-------|----|------------|----|-------------|----|-------------|----|-------------|
|       | 今週   | 累計 | 今週         | 累計 | 今週    | 累計 | 今週         | 累計 | 今週          | 累計 | 今週          | 累計 |             |
| 岡山県全体 | 1    | 1  | 1          | 1  | 1     | 1  | —          | —  | 1           | 1  | —           | —  | H25. 11. 13 |
| 岡山市   | —    | —  | —          | —  | —     | —  | —          | —  | —           | —  | —           | —  | —           |
| 倉敷市   | —    | —  | —          | —  | —     | —  | —          | —  | —           | —  | —           | —  | —           |
| 備前地域  | —    | —  | —          | —  | —     | —  | —          | —  | —           | —  | —           | —  | —           |
| 備中地域  | 1    | 1  | 1          | 1  | 1     | 1  | —          | —  | 1           | 1  | —           | —  | H25. 11. 13 |
| 備北地域  | —    | —  | —          | —  | —     | —  | —          | —  | —           | —  | —           | —  | —           |
| 真庭地域  | —    | —  | —          | —  | —     | —  | —          | —  | —           | —  | —           | —  | —           |
| 美作地域  | —    | —  | —          | —  | —     | —  | —          | —  | —           | —  | —           | —  | —           |

\* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

2) 臨時休業施設数の内訳

第46週：1施設

累計：1施設

|     | 保育所 |    | 幼稚園 |    | 小学校 |    | 中学校 |    | 高等学校 |    | その他 |    |
|-----|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|------|----|-----|----|
|     | 今週  | 累計 | 今週  | 累計 | 今週  | 累計 | 今週  | 累計 | 今週   | 累計 | 今週  | 累計 |
| 施設数 | —   | —  | 1   | 1  | —   | —  | —   | —  | —    | —  | —   | —  |



保健所別報告患者数 2013年 46週 ( 2013/11/11～2013/11/17 )

2013年11月22日

| 疾病名            | 全県  |      | 岡山市 |      | 倉敷市 |      | 備前  |      | 備中  |      | 備北  |       | 真庭  |      | 美作  |      |
|----------------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-------|-----|------|-----|------|
|                | 報告数 | 定点当  | 報告数 | 定点当  | 報告数 | 定点当  | 報告数 | 定点当  | 報告数 | 定点当  | 報告数 | 定点当   | 報告数 | 定点当  | 報告数 | 定点当  |
| インフルエンザ        | 8   | 0.10 | —   | —    | 2   | 0.13 | —   | —    | 2   | 0.17 | 3   | 0.50  | —   | —    | 1   | 0.10 |
| RSウイルス感染症      | 54  | 1.00 | 17  | 1.21 | 10  | 0.91 | 1   | 0.10 | —   | —    | 1   | 0.25  | 1   | 0.50 | 24  | 4.00 |
| 咽頭結膜熱          | 14  | 0.26 | 2   | 0.14 | 1   | 0.09 | —   | —    | 8   | 1.14 | —   | —     | —   | —    | 3   | 0.50 |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎  | 38  | 0.70 | 27  | 1.93 | 4   | 0.36 | —   | —    | 1   | 0.14 | —   | —     | 1   | 0.50 | 5   | 0.83 |
| 感染性胃腸炎         | 359 | 6.65 | 106 | 7.57 | 103 | 9.36 | 63  | 6.30 | 22  | 3.14 | 40  | 10.00 | 6   | 3.00 | 19  | 3.17 |
| 水痘             | 54  | 1.00 | 23  | 1.64 | 12  | 1.09 | 13  | 1.30 | 3   | 0.43 | —   | —     | 3   | 1.50 | —   | —    |
| 手足口病           | 22  | 0.41 | 9   | 0.64 | 2   | 0.18 | 4   | 0.40 | 7   | 1.00 | —   | —     | —   | —    | —   | —    |
| 伝染性紅斑          | 2   | 0.04 | —   | —    | —   | —    | —   | —    | —   | —    | —   | —     | —   | —    | 2   | 0.33 |
| 突発性発疹          | 16  | 0.30 | 8   | 0.57 | 4   | 0.36 | 2   | 0.20 | —   | —    | 1   | 0.25  | —   | —    | 1   | 0.17 |
| 百日咳            | 1   | 0.02 | —   | —    | 1   | 0.09 | —   | —    | —   | —    | —   | —     | —   | —    | —   | —    |
| ヘルパンギーナ        | 3   | 0.06 | 1   | 0.07 | —   | —    | —   | —    | 2   | 0.29 | —   | —     | —   | —    | —   | —    |
| 流行性耳下腺炎        | 5   | 0.09 | 2   | 0.14 | 1   | 0.09 | —   | —    | —   | —    | —   | —     | —   | —    | 2   | 0.33 |
| 急性出血性結膜炎       | —   | —    | —   | —    | —   | —    | —   | —    | —   | —    | —   | —     | —   | —    | —   | —    |
| 流行性角結膜炎        | 8   | 0.67 | 3   | 0.60 | 2   | 0.50 | 2   | 2.00 | 1   | 1.00 | —   | —     | —   | —    | —   | —    |
| 細菌性髄膜炎         | —   | —    | —   | —    | —   | —    | —   | —    | —   | —    | —   | —     | —   | —    | —   | —    |
| 無菌性髄膜炎         | —   | —    | —   | —    | —   | —    | —   | —    | —   | —    | —   | —     | —   | —    | —   | —    |
| マイコプラズマ肺炎      | 2   | 0.40 | 1   | 1.00 | —   | —    | —   | —    | —   | —    | 1   | 1.00  | —   | —    | —   | —    |
| クラミジア肺炎        | —   | —    | —   | —    | —   | —    | —   | —    | —   | —    | —   | —     | —   | —    | —   | —    |
| 感染性胃腸炎(ロタウイルス) | —   | —    | —   | —    | —   | —    | —   | —    | —   | —    | —   | —     | —   | —    | —   | —    |

( — : 0 or 0.00 ) ( 空白 : 定点なし )

保健所別報告患者数 2013年 46週 ( 2013/11/11～2013/11/17 )

2013年11月22日

| 疾病名           | 全県  |      | 岡山市 |      | 倉敷市 |      | 備前  |      | 備中  |      | 備北  |       | 真庭  |      | 美作  |      |
|---------------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-------|-----|------|-----|------|
|               | 報告数 | 定点当  | 報告数 | 定点当  | 報告数 | 定点当  | 報告数 | 定点当  | 報告数 | 定点当  | 報告数 | 定点当   | 報告数 | 定点当  | 報告数 | 定点当  |
| インフルエンザ       | 8   | 0.10 | —   | —    | 2   | 0.13 | —   | —    | 2   | 0.17 | 3   | 0.50  | —   | —    | 1   | 0.10 |
| 咽頭結膜熱         | 14  | 0.26 | 2   | 0.14 | 1   | 0.09 | —   | —    | 8   | 1.14 | —   | —     | —   | —    | 3   | 0.50 |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 38  | 0.70 | 27  | 1.93 | 4   | 0.36 | —   | —    | 1   | 0.14 | —   | —     | 1   | 0.50 | 5   | 0.83 |
| 感染性胃腸炎        | 359 | 6.65 | 106 | 7.57 | 103 | 9.36 | 63  | 6.30 | 22  | 3.14 | 40  | 10.00 | 6   | 3.00 | 19  | 3.17 |
| 水痘            | 54  | 1.00 | 23  | 1.64 | 12  | 1.09 | 13  | 1.30 | 3   | 0.43 | —   | —     | 3   | 1.50 | —   | —    |
| 手足口病          | 22  | 0.41 | 9   | 0.64 | 2   | 0.18 | 4   | 0.40 | 7   | 1.00 | —   | —     | —   | —    | —   | —    |
| 伝染性紅斑         | 2   | 0.04 | —   | —    | —   | —    | —   | —    | —   | —    | —   | —     | —   | —    | 2   | 0.33 |
| 百日咳           | 1   | 0.02 | —   | —    | 1   | 0.09 | —   | —    | —   | —    | —   | —     | —   | —    | —   | —    |
| ヘルパンギーナ       | 3   | 0.06 | 1   | 0.07 | —   | —    | —   | —    | 2   | 0.29 | —   | —     | —   | —    | —   | —    |
| 流行性耳下腺炎       | 5   | 0.09 | 2   | 0.14 | 1   | 0.09 | —   | —    | —   | —    | —   | —     | —   | —    | 2   | 0.33 |
| 急性出血性結膜炎      | —   | —    | —   | —    | —   | —    | —   | —    | —   | —    | —   | —     | —   | —    | —   | —    |
| 流行性角結膜炎       | 8   | 0.67 | 3   | 0.60 | 2   | 0.50 | 2   | 2.00 | 1   | 1.00 | —   | —     | —   | —    | —   | —    |

今週、岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2、レベル3に該当するものではありませんでした。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 ( 2013年 第46週 2013/11/11～2013/11/17 )

| 疾病名     | 合計 | -6ヶ月 | -12ヶ月 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 6歳 | 7歳 | 8歳 | 9歳 | 10-14 | 15-19 | 20-29 | 30-39 | 40-49 | 50-59 | 60-69 | 70-79 | 80～ |
|---------|----|------|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|
| インフルエンザ | 8  | -    | -     | -  | 1  | -  | -  | -  | -  | 1  | -  | -  | -     | -     | 1     | 1     | -     | 2     | -     | 2     | -   |

| 疾病名           | 合計  | -6ヶ月 | -12ヶ月 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 6歳 | 7歳 | 8歳 | 9歳 | 10-14 | 15-19 | 20～ |
|---------------|-----|------|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-------|-------|-----|
| RSウイルス感染症     | 54  | 17   | 8     | 15 | 8  | 5  | 1  | -  | -  | -  | -  | -  | -     | -     | -   |
| 咽頭結膜熱         | 14  | -    | -     | 4  | 4  | 2  | -  | 1  | 3  | -  | -  | -  | -     | -     | -   |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 38  | 1    | -     | -  | 2  | 1  | 2  | 7  | 8  | 4  | 5  | 3  | 4     | -     | 1   |
| 感染性胃腸炎        | 359 | 6    | 26    | 58 | 32 | 22 | 28 | 41 | 27 | 7  | 10 | 15 | 45    | 8     | 34  |
| 水痘            | 54  | 1    | 7     | 10 | 8  | 8  | 5  | 5  | 4  | 4  | -  | -  | 2     | -     | -   |
| 手足口病          | 22  | -    | 1     | 8  | 3  | 3  | 5  | 1  | -  | -  | -  | -  | 1     | -     | -   |
| 伝染性紅斑         | 2   | -    | 2     | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -     | -     | -   |
| 突発性発疹         | 16  | 1    | 10    | 5  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -     | -     | -   |
| 百日咳           | 1   | 1    | -     | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -     | -     | -   |
| ヘルパンギーナ       | 3   | -    | 1     | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | 1  | -  | 1     | -     | -   |
| 流行性耳下腺炎       | 5   | -    | -     | -  | -  | -  | 1  | -  | 1  | -  | 2  | -  | -     | -     | 1   |

| 疾病名      | 合計 | -6ヶ月 | -12ヶ月 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 6歳 | 7歳 | 8歳 | 9歳 | 10-14 | 15-19 | 20-29 | 30-39 | 40-49 | 50-59 | 60-69 | 70～ |
|----------|----|------|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|
| 急性出血性結膜炎 | -  | -    | -     | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -   |
| 流行性角結膜炎  | 8  | -    | -     | 2  | 2  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -  | -     | -     | -     | 3     | -     | 1     | -     | -   |

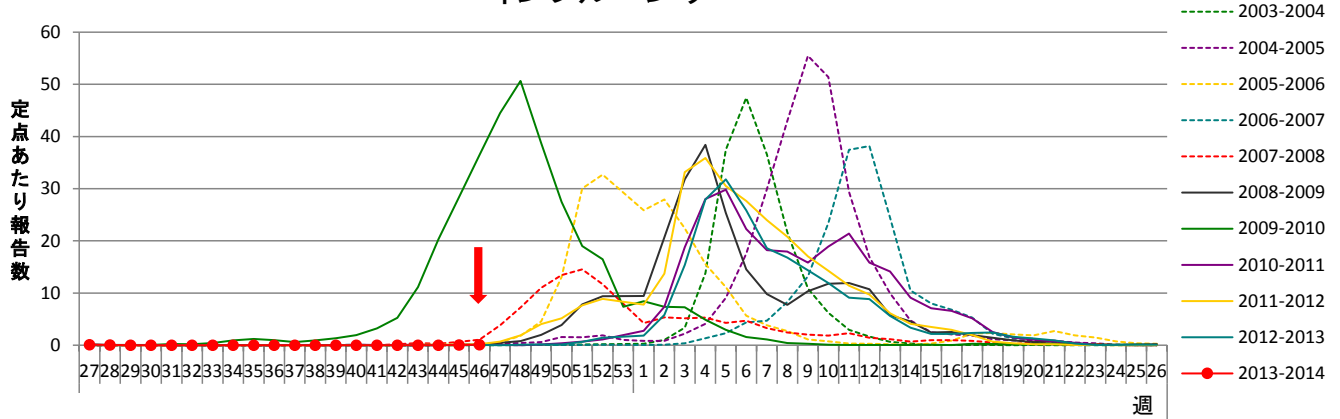
| 疾病名            | 合計 | 0歳 | 1-4 | 5-9 | 10-14 | 15-19 | 20-24 | 25-29 | 30-34 | 35-39 | 40-44 | 45-49 | 50-54 | 55-59 | 60-64 | 65-69 | 70～ |
|----------------|----|----|-----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|
| 細菌性髄膜炎         | -  | -  | -   | -   | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -   |
| 無菌性髄膜炎         | -  | -  | -   | -   | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -   |
| マイコプラズマ肺炎      | 2  | -  | -   | 1   | 1     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -   |
| クラミジア肺炎        | -  | -  | -   | -   | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -   |
| 感染性胃腸炎(ロタウイルス) | -  | -  | -   | -   | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -     | -   |

( - : 0 )

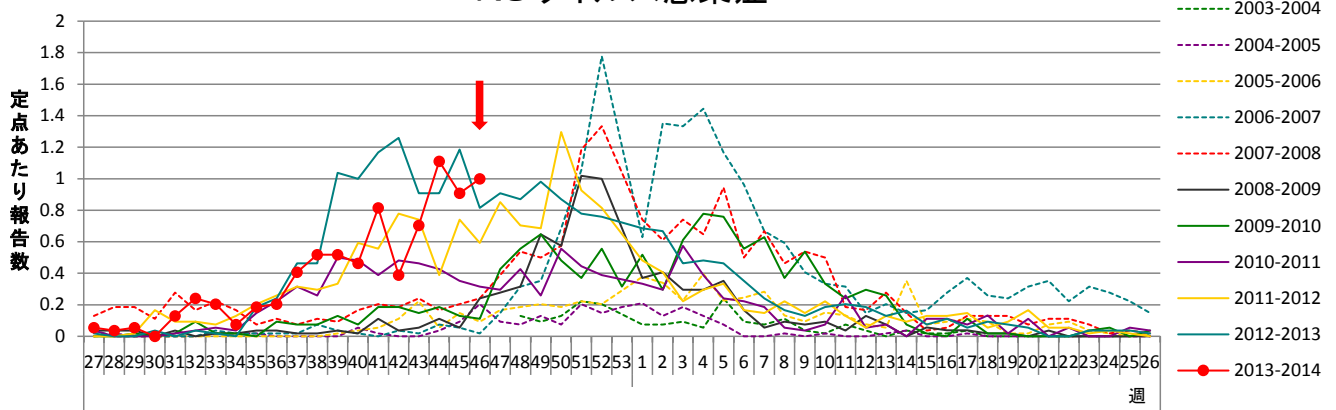
2013 年 46 週

[illegible]

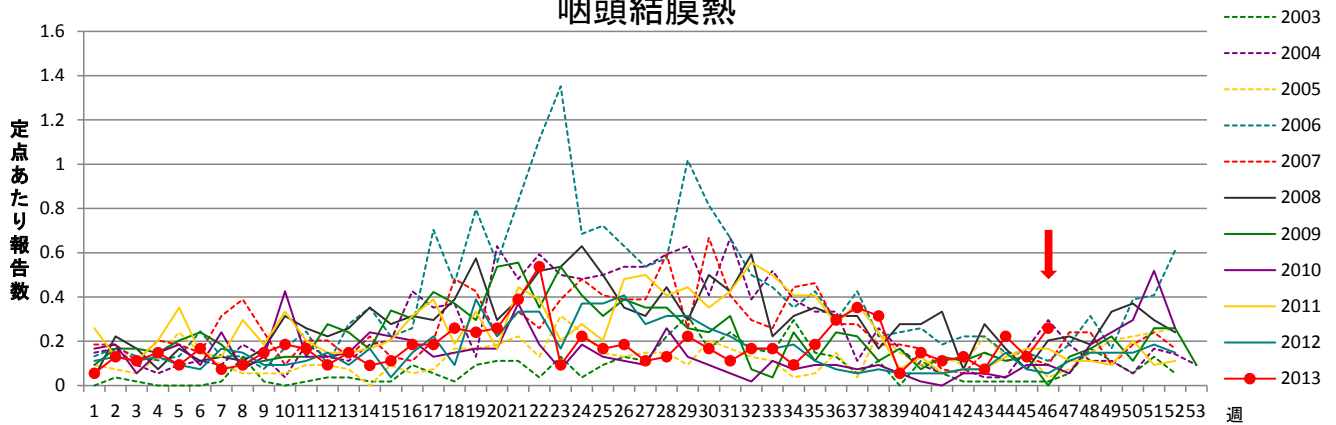
## インフルエンザ



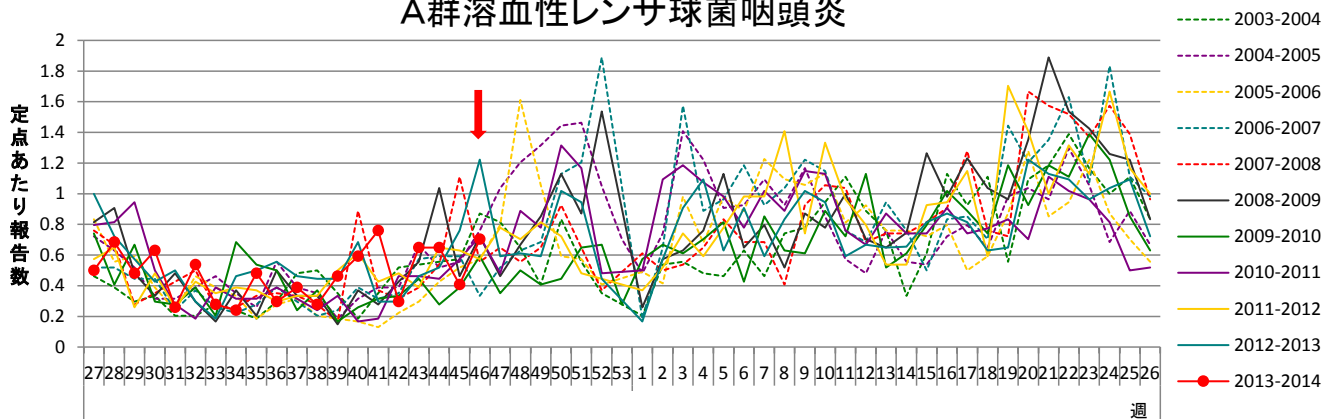
## RSウイルス感染症



## 咽頭結膜熱

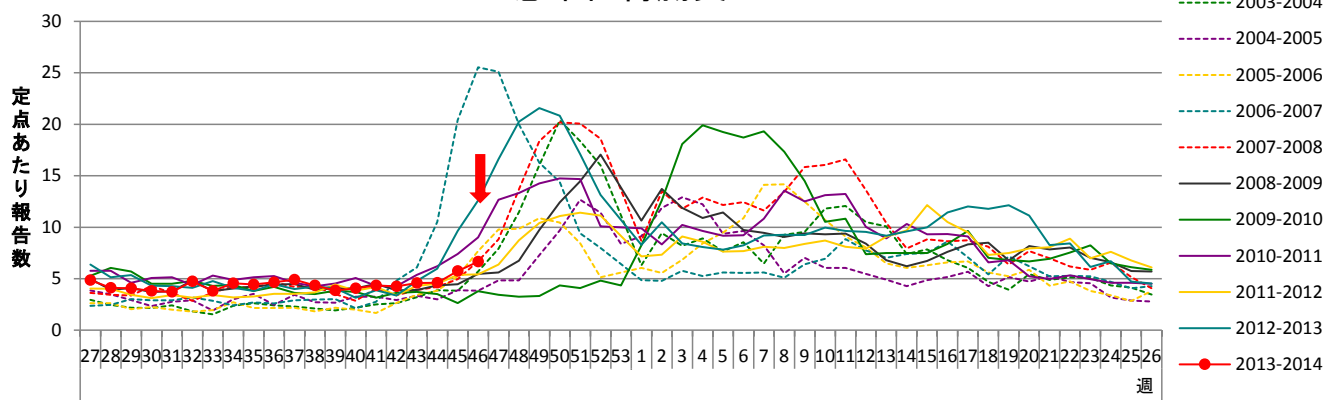


## A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

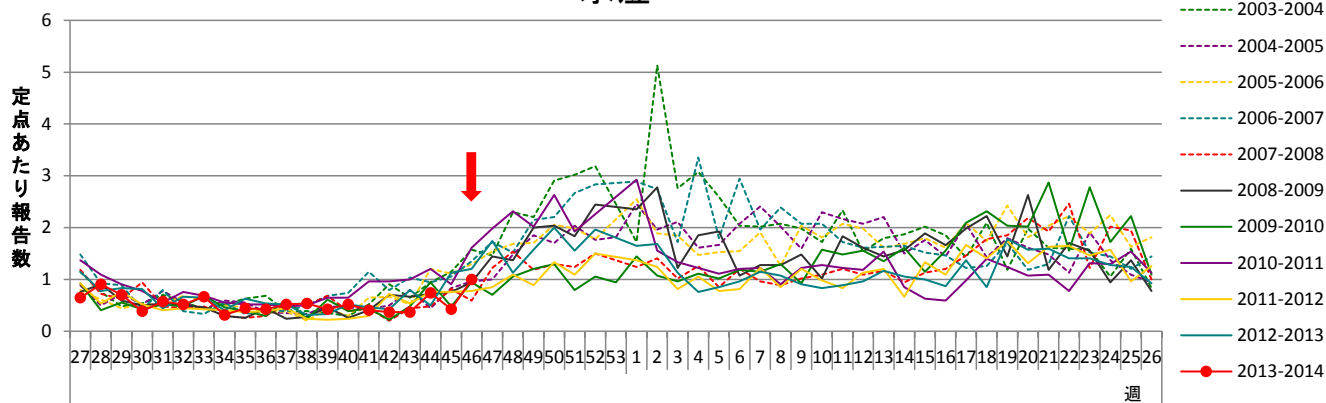




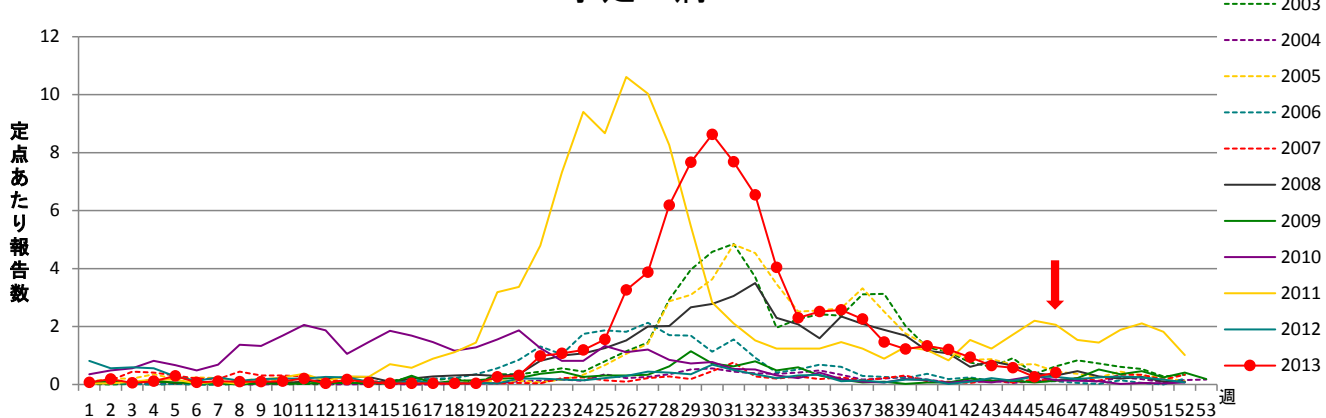
## 感染性胃腸炎



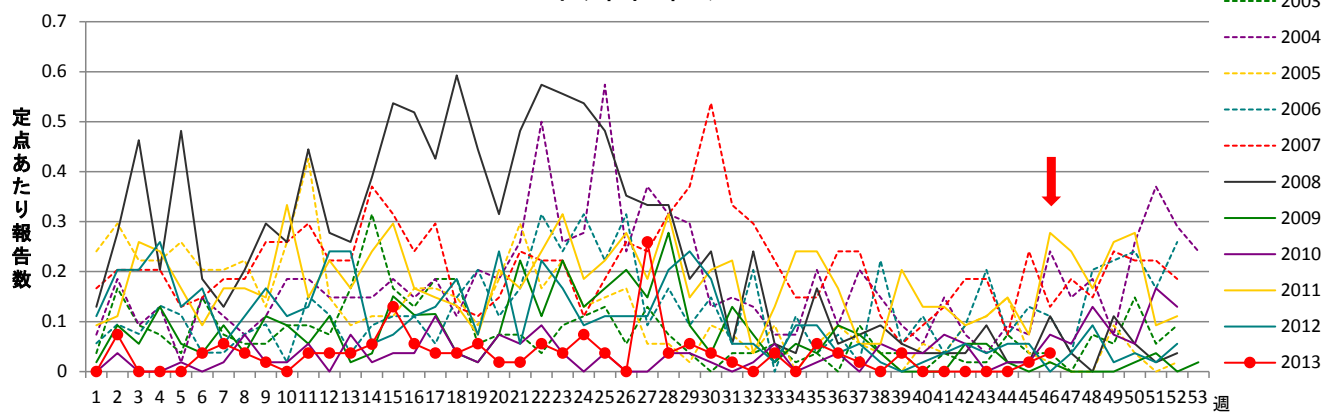
## 水痘



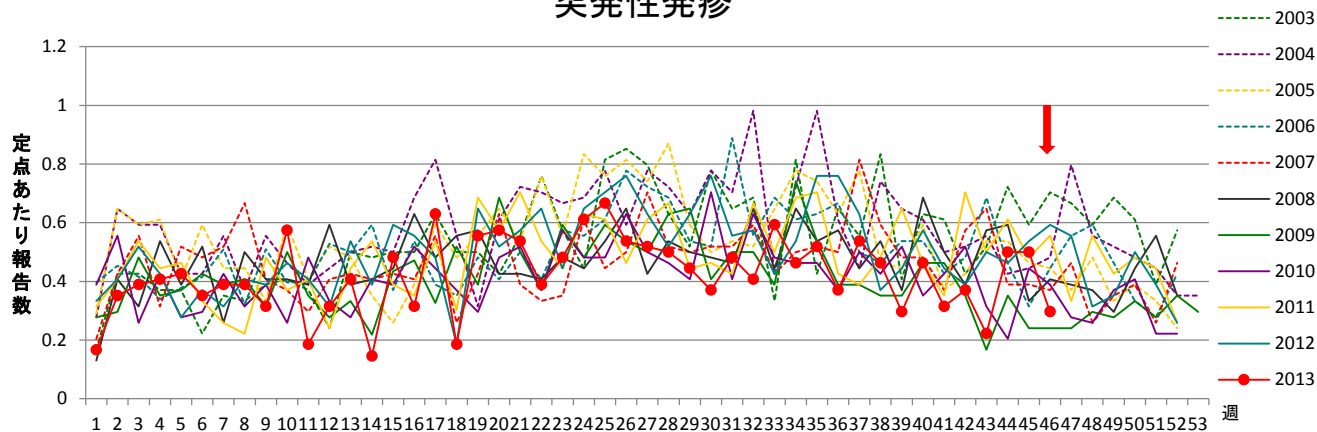
## 手足口病



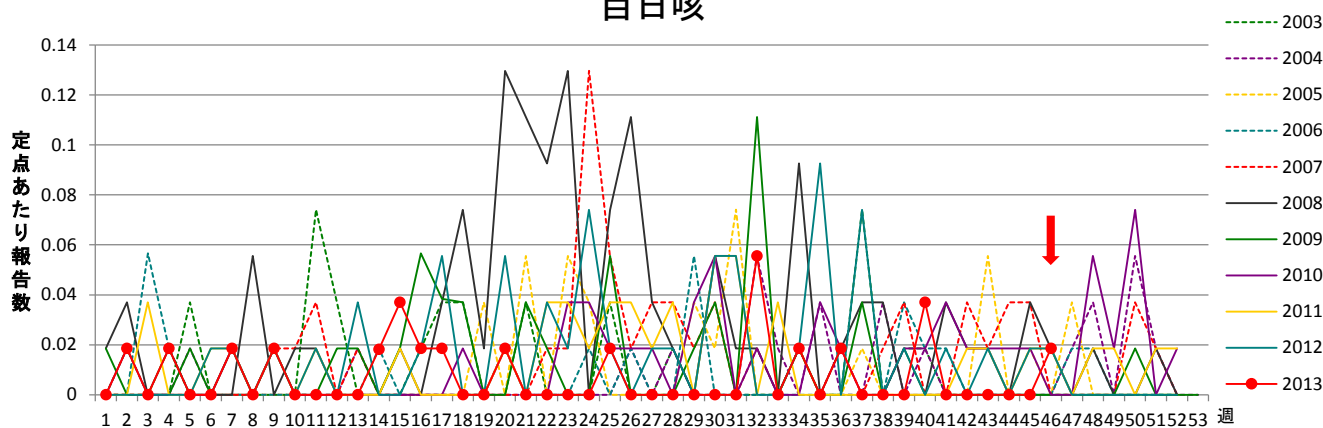
## 伝染性紅斑



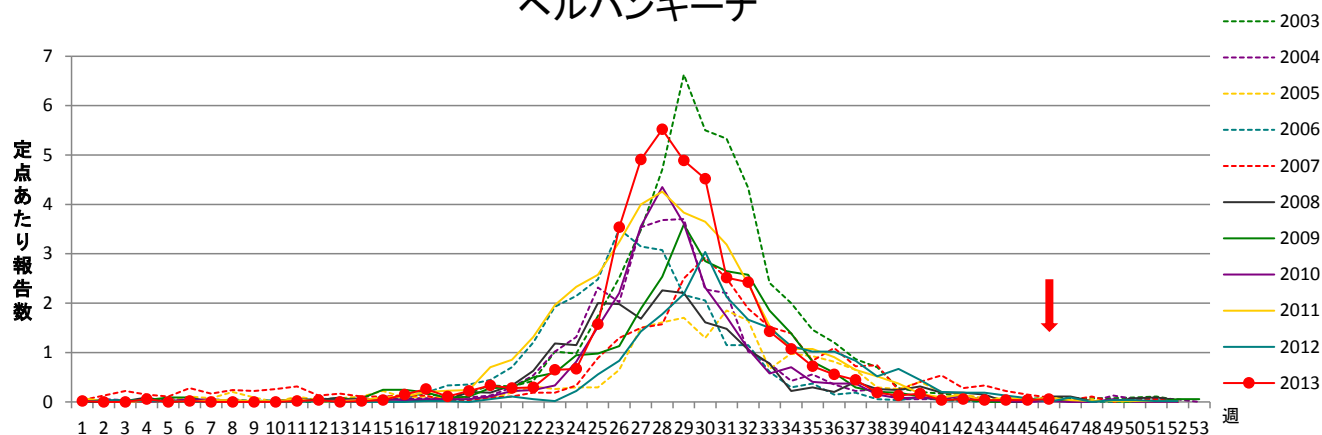
## 突発性発疹



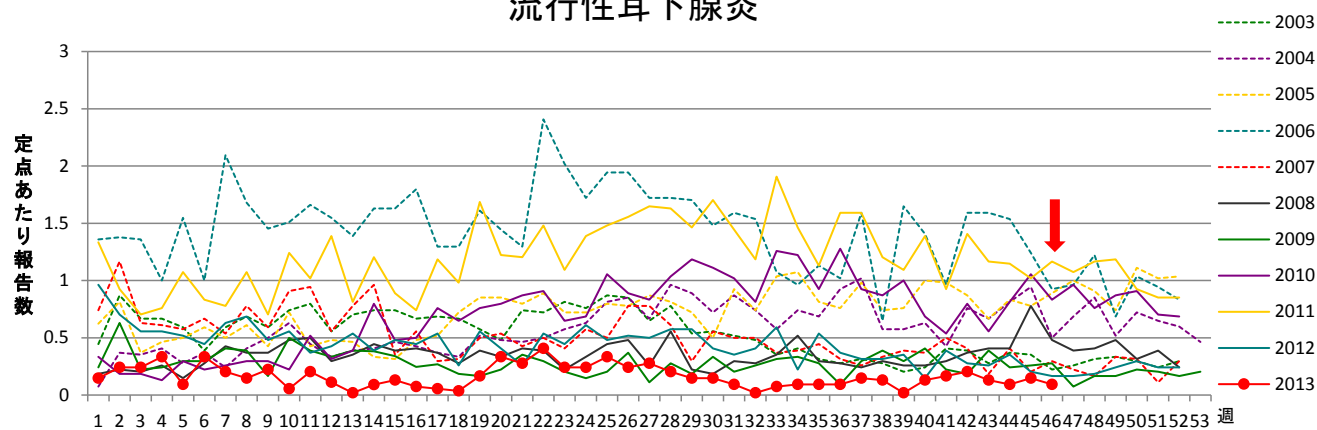
## 百日咳



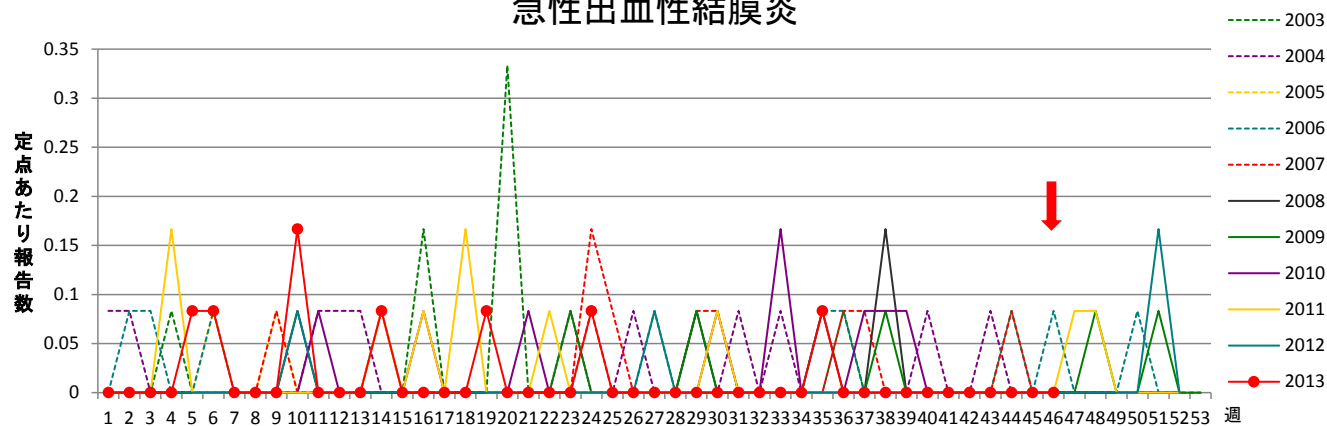
## ヘルパンギーナ



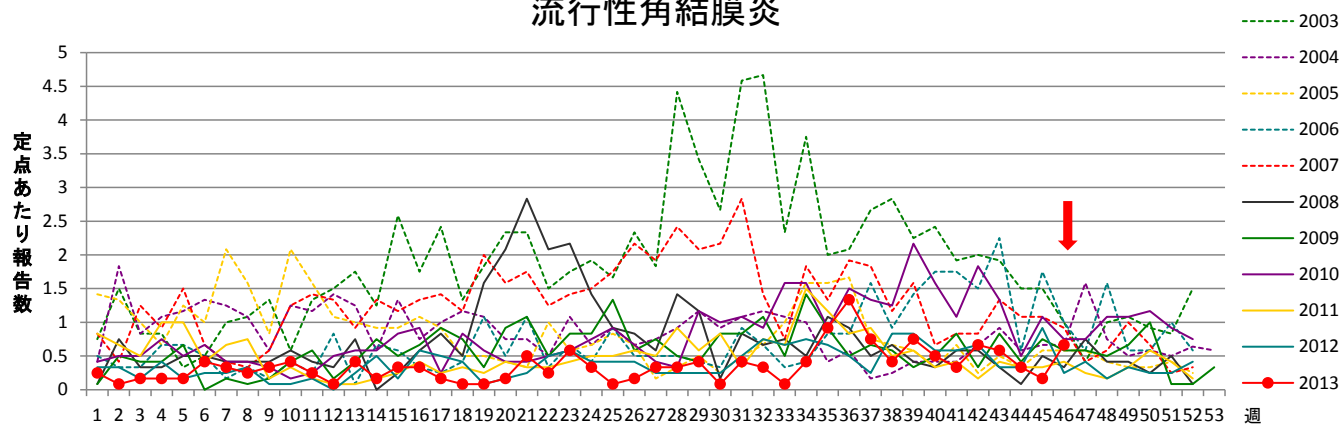
## 流行性耳下腺炎



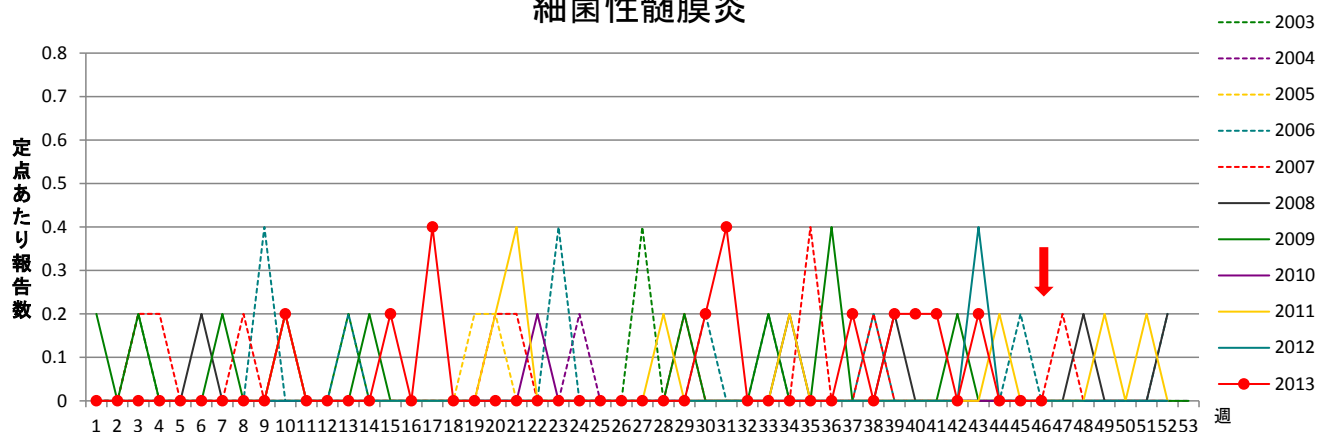
### 急性出血性結膜炎



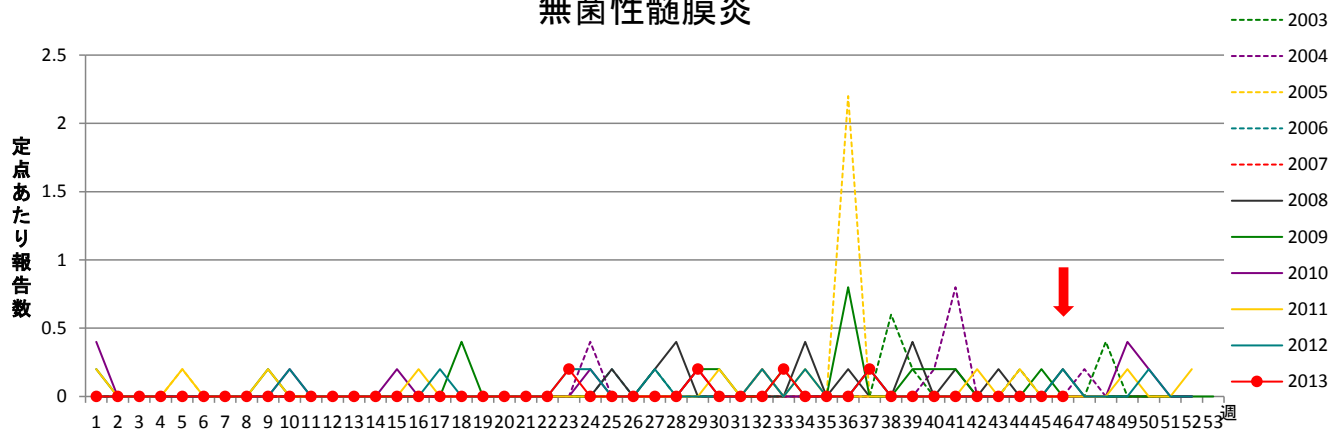
### 流行性角結膜炎



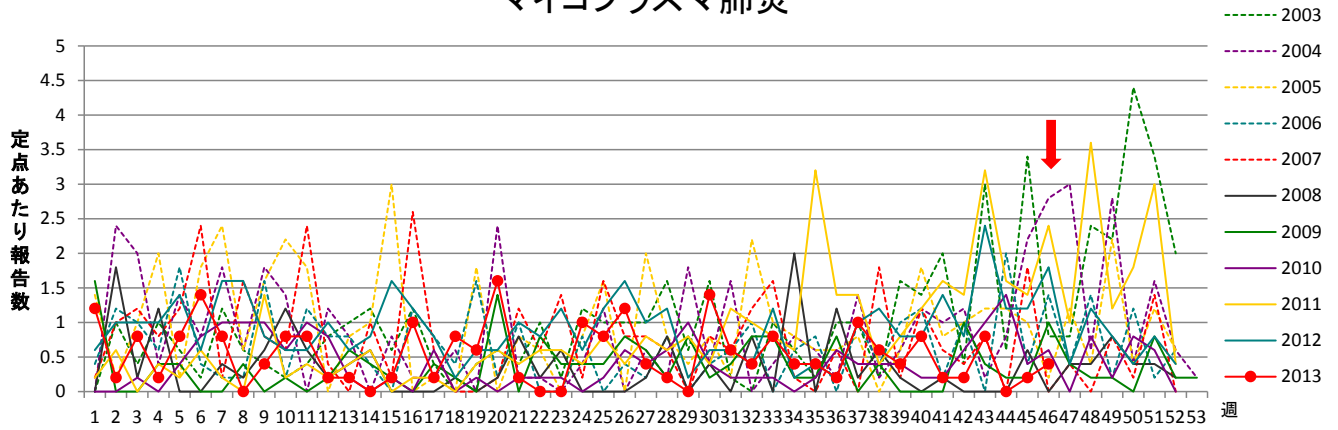
### 細菌性髄膜炎



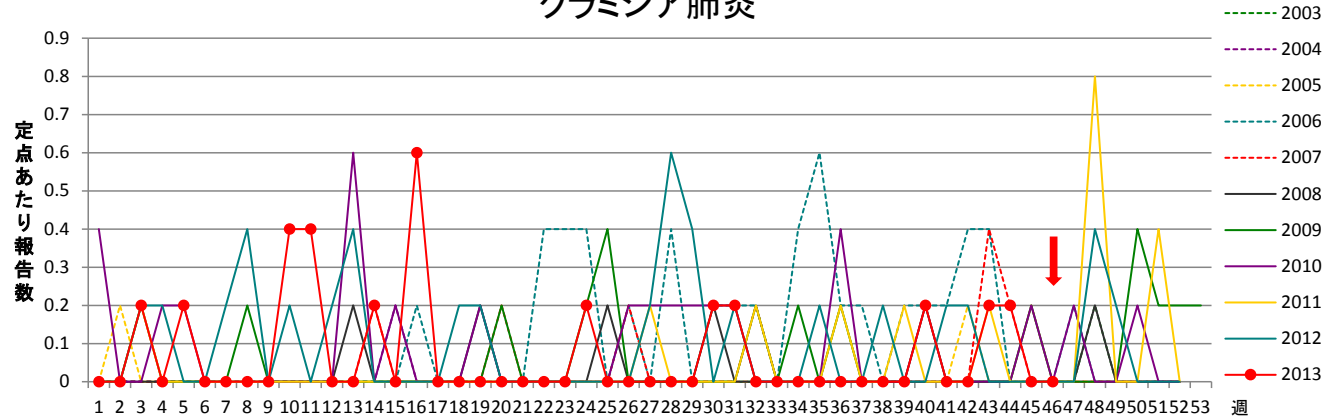
### 無菌性髄膜炎



## マイコプラズマ肺炎



## クラミジア肺炎



## 感染性胃腸炎(ロタウイルス)

